



2 0 2 3 年 1 0 月 1 6 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

2023 年 を 公 共 交 通 と 物 流 の 再 構 築 元 年 と 位 置 付 け 持 続 可 能 な 交 通 運 輸 ・ 観 光 サ ー ビ ス 産 業 の 確 立 を め ざ す !

交 運 労 協 第 39 回 定 期 総 会

交運労協は10月12日、「連携・協働・共創 交通運輸・観光サービス産業の持続可能な再構築をめざし、社会的役割にふさわしい労働環境を実現しよう！」をスローガンに掲げて「第39回定期総会」を開催し、向こう1年の活動方針を決定した。JR連合からは、荻山市朗会長が副議長、慶島譲治特別執行委員が事務局長、政所大祐事務局長が幹事として参画したほか、執行部と各単組から総会代議員計6名と、地方交運労協派遣役員が出席した。



住野議長



慶島事務局長

冒頭、挨拶に立った住野敏彦議長はコロナ禍の感染症法上の分類変更と社会変化や多発する自然災害、深刻な人手不足等を挙げつつ、人財確保の取り組みや政策・政治活動の重要性を強く訴えた。政策課題については、この間取り組んできたカスタマーハラスメントにかかる課題への対応や、改正地域交通法のもとでの持続可能な地域公共交通の再構築、物流クライシス（2024年問題）への対応等を重要課題として挙げ、これまで以上に産別の枠を超えた、総がかりの行動が必要であると呼びかけた。そして来賓として、連合本部の芳野友子会長や厚労省・国交省代表者、政党および推薦議員懇談会の代表者が臨席し、連帯・激励のあいさつを述べた。

その後、事務局から報告と各議案の提起が行われた。質疑応答で計4名の総会代議員が発言に立ち、J R 連 合 从 事 員 吉 田 春 菜 執 行 委 員（J R 連 合 男 女 平 等 参 画 推 進 委 員 会 副 委 員 長 ・ J R 九 州 労 組 中 央 執 行 委 員）が発言に立ち、「持 続 可 能 な 地 域 公 共 交 通 の 実 現 に 向 け た 取 り 組 み」や「物 流 ・ 建 設 業 の 2 0 2 4 年 問 題 へ の 対 応」、「男 女 平 等 参 画 、 多 様



吉田執行委員

性 推 進」の3点について発言

し、交運労協の力強い取り組みを要請した。慶島事務局長の答弁を経て全ての議案が満場一致で承認された。役員改選では住野議長、慶島事務局長および蒔田純司事務局長が再選されたほか、サービス連合から小島哲氏が新たに事務局次長

に選任された。また、JR連合からは荻山会長と政所事務局長が副議長・幹事にそれぞれ再選され、新体制が確立された。最後は住野議長による熱い団結がんばろうで閉幕した。



新体制役員あいさつの様子